

第 95 号 (No.95)

2024 年 10 月 31 日

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

目 次

〈理事会報告（2024 年 7 月 5 日）〉

■審議事項

- I 総会議事
- II 第 35 回筑波大学大会について
- III 各委員会の活動報告
- IV 第 36 回花園大学大会について

■報告事項

- V 事務局報告

〈総会報告（2024 年 7 月 7 日）〉

〈「秋のセミナー2024」（公開）のお知らせ〉

〈事務局からのお知らせ〉

理事会報告（2024 年 7 月 5 日）

出席者：石井理事、石田理事、磯田理事、上地理事、奥村理事、川口理事、川地理事、唐木理事、黒田理事、倉本理事、草原理事、子安理事、澤田理事、柴田理事、中野理事、西岡理事、二宮理事、根津理事、松下代表理事、的場理事、樋口理事、吉田理事、香川大学附属高松小学校、木村裕会員（花園大学）、藤井浩史会員（花園大学）（計 25 名）
事務局：竹川事務局長、富士原理事、次橋幹事（計 3 名）

定例理事会が、2024 年 7 月 5 日（金）16 時から 17 時 40 分まで、筑波大学筑波キャンパス人間系学系棟 B523/524 会議室にて、対面形式で行われた。事務局 3 名を含む 28 名（うち理事 25 名）の参加があった。

審議に先立ち、松下代表理事より、大会校への謝辞と開会の挨拶が述べられた。続いて、第 36 回大会開催校の花園大学より出席の 2 名（藤井事務局長、木村副事務局長）の紹介があった。

■ 審議事項

I 総会議事

竹川事務局長より、総会議事として、2023 年度の活動報告、決算報告・監査報告ならびに第 35 回大会年度（2024 年度）活動方針案・予算案についての説明が行われた。

まず、繰越金が大きく残っていることに関連して、会費の再検討や各委員会での業務負担経験等のための活用方法が議論された。収支バランスの再考（会費の検討）だけでなく、将来の会員の方々への還元という視点も必要であることが指摘された。続いて、予算案を含む総会議事が承認され、一部指摘のあった表記・記載事実の修正ののち総会に提出することが確認された。

II 第 35 回筑波大学大会について

樋口直宏大会委員長より、資料に基づいて、翌日からの大会運営についての説明が行われた。

事前参加申込者数は 243 名（うち正会員 156 名、学生会員 23 名、団体会員 4 団体 10 名、臨時会員 44 名、公開シンポジウムのみ 5 名、課題研究・シンポジウム登壇者である非会員 5 名）、発表件数は自由研究発表 62 件、課題研究 4 部会、自主企画セッション 3 部会であること、筑波大学教員や大学院生の協力によって当日の運営スタッフも確保でき、準備が整っていることが報告された。なお、今大会より新たに準備をしていた託児制度（既存の施設を活用し費用を学会が負担する）については、希望者がいなかった。

金銭的な面では、つくば市内での参加者宿泊について、つくば市からの金銭的支援（コンベンション開催支援補助金制度）が利用できそうであること、そのために受付時に宿泊先を参加者にお尋ねすることなどが報告された。

Ⅲ 各委員会の活動報告

1. 学会賞委員会

磯田委員長より、2024年度の優秀発表賞ならびに研究奨励賞の選考過程についての説明が行われた。優秀発表賞については、大会校からのエントリー者リストをもとに資格確認を行った結果、第35回大会の優秀発表賞のエントリー者は12名となったことが報告された。併せて、7月下旬より理事及び分科会司会者による第一段投票を実施予定であるとの報告があった。研究奨励賞については、例年通り9月30日までに候補者の推薦を受け付けることが確認された。

2. 紀要編集委員会

澤田委員長より、委員会の開催状況、納品された学会紀要（第33号）にスレ・汚れがあった件の対応（城島印刷が今後は梱包方法を改める）、査読論文以外（図書紹介・課題研究報告等）の提出のオンライン化の検討状況が報告された。また、現在のところ、第34号の編集作業に間に合うように、オンライン査読システムの仕様修正、図書紹介等の原稿提出のオンライン化の機能追加をガリレオに依頼中であるとの報告があった。

3. 国際交流委員会

倉本委員長より、今大会の課題研究Ⅱの状況、海外カリキュラム研究情報の執筆者の選定と依頼状況の報告と、科研費の国際共同研究加速資金（海外連携研究）を申請中であることが報告された。課題研究Ⅱについては、海外研究者への謝金手続きに事務的な困難が見込まれることが報告された。

4. 研究委員会

子安委員より、2024年3月15日（土）にオンライン形式で実施された春の研究集会の報告と、今大会の課題研究Ⅰ「多様な学びと学校の課題」、課題研究Ⅲ「デジタル社会の危険性とカリキュラム」の状況報告、ならびに2025年春の研究集会（秋の理事会に具体案を提出予定）、次年度大会の課題研究（例年通り2つの企画）今後検討の予定であることが報告された。

5. 広報・若手育成委員会

唐木委員長より、今大会の課題研究Ⅳについての状況報告、秋のセミナーを今後検討すること、2月中旬～下旬の「若手育成」企画を検討中であるとの報告が行われた。

Ⅳ 第36回花園大学大会について

磯田大会実行委員会委員長より、資料に基づき、報告が行われた。大会日程は2025年6月21日（土）、22日（日）で、花園大学にて現地開催とすること、参加申込期限・要旨提出期限・発

表申込期限および両日のタイムスケジュールなどについて提案があった。また、木村副事務局長より、公開シンポジウムのテーマ案「持続可能な社会の創り手の育成を見据えた学校教育のカリキュラムのあり方を問う」についての説明が行われた。

続いて、タイムスケジュール等（シンポジウムと昼食時間）についての議論が行われ、理事会の開催時間とともに次回理事会で再度提案が行われることになった。

■ 報告事項

V 事務局報告

竹川事務局長より、会員現況、寄贈図書、会計（2024年度）について報告が行われた。

VII その他

吉田理事より団体会員の入会方法と、大会参加の規定についての質問があり、事務局にてこれまでの経緯を確認のうえ、改めて回答することを約束した。

総会報告（2024 年 7 月 7 日）

日本カリキュラム学会の第 35 回大会総会が、第 35 回筑波大学大会の 2 日目（2024 年 7 月 7 日）の 11 時 45 分から 12 時 45 分まで、樋口直宏理事（第 35 回大会校／筑波大学）と磯田文雄理事（第 36 回大会校／花園大学）を議長団として、開催された。

総会では、開会の辞、代表理事挨拶、大会校挨拶、議長団選出の後、「第 35 回大会総会 議事次第」に基づき、「第 34 回大会年度（2023 年度）活動報告について」、「2023 年度決算報告・監査報告」、および「第 35 回大会年度（2024 年度）活動方針案について」の説明と提案が行われた。会員からの意見や異議は出されず、すべての審議事項について承認された。

議長団解任の後、第 36 回大会（2025 年度）の大会校である花園大学の磯田文雄理事より、次回大会の準備・運営に対する抱負が述べられた。さらに、日程については 2025 年 6 月 21 日（土）、22 日（日）であること、会場は花園大学を予定していること、対面形式での実施を予定していることが報告された。

総会終了後には、優秀発表賞ならびに研究奨励賞授与式が執り行われた。磯田文雄理事（学会賞委員長）より、優秀発表賞受賞者である田中怜会員（『鍵的問題』はなにがどう批判されたのか——一般陶冶としての問題志向カリキュラムの可能性と限界——第 34 回大会自由研究発表）と研究奨励賞受賞者である田中怜会員（『学校と生活を接続する——ドイツの改革教育的な授業の理論と実践』春風社、2022 年 2 月、326 頁）と宮本勇一会員（『フンボルトの陶冶理論と教育改革——学問中心カリキュラムの再考』春風社、2023 年 3 月、552 頁）が紹介された。選考過程と受賞理由が説明された後、松下佳代代表理事より、研究奨励賞受賞に対する祝辞と、審査にあたった理事各位への御礼が述べられた。そして、両会員より、受賞対象となった著書の内容、研究の経緯、指導教員をはじめとするすべての関係者への御礼、今後の研究に向けた抱負と決意が述べられた。

※このニュースレターの 6～11 ページに、当日配布資料を掲載。

第 35 回大会総会 議事次第

2024 年 7 月 7 日（日） 11:45－12:45
筑波大学・筑波キャンパス 2H101 教室

1. 開会の辞・代表理事挨拶 大会校挨拶

[議長団選出]

2. 第 34 回大会年度（2023 年度）活動報告について

（1）一般活動報告

①現況概要（2024 年 6 月 14 日時点）

会員数や会費納入状況は以下の通りである。

- ・ 会員総数 697 名（一般会員 612 名、学生会員 79 名、団体会員 6 名）
※連絡先不明者 5 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 27 名を含む。
（2023 年度 706 名、2022 年度：701 名、2021 年度：712 名）
※2023 年度の新規入会者数は 46 名
- ・ 会費納入率（2024 年 6 月 14 日時点）
2024 年度：完納 444 名 未納 253 名 計 697 名 63.7%（切り捨て）
※連絡先不明者 5 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 27 名を含む。
（2023 年度：89.0%、2022 年度：92.1%、2021 年度：96.7%）

②第 34 回大会報告

日本カリキュラム学会第 34 回大会は、対面形式で、2023 年 7 月 7 日(土)・8 日(日)に大阪教育大学（天王寺キャンパス）で開催された。対面形式での大会開催は、4 年ぶりであった。大会参加者数は、事前参加登録・当日受付等を合わせ 302 名となった。2 日間で 53 件（16 分科会）の自由研究発表、4 件の課題研究、公開シンポジウムが実施された。34 回大会では、大会参加登録及び参加費の支払い、発表申込や要旨の送信、資料のアップロード等を学会ホームページから会員が進めることができるようオンライン化を進めた。会報第 93 号にて大会報告を掲載。

③学会誌『カリキュラム研究』第 33 号発行

④会報第 92・93 号発行

2023 年 10 月 27 日に 92 号、2024 年 2 月 20 日に 93 号を発行した。

⑤優秀発表賞及び研究奨励賞選考結果

・優秀発表賞

筑波大学 田中怜会員「『鍵的問題』はなにがどう批判されたのか——一般陶冶としての問題志

向カリキュラムの可能性と限界―」第34回大会自由研究発表

・研究奨励賞

筑波大学 田中怜会員『学校と生活を接続する―ドイツの改革教育的な授業の理論と実践』
春風社、2022年2月、326頁

岡山大学 宮本勇一会員『フンボルトの陶冶理論と教育改革―学問中心カリキュラムの再考』
春風社、2023年3月、552頁

*総会終了後、授与式を行います

⑥会員勧誘の結果（2023年度内）

新入会員 46名（参考：昨年度 29名、一昨年度 44名）

⑦秋のセミナー2023の開催

日時：2023年11月23日（水・祝）13:30～16:00

開催方法：オンライン開催（Zoom）

テーマ：「カリキュラム・マネジメントで何が変わるのか」

報告者：

石田有記（文部科学省初等中等教育局教育課程課 教育課程企画室長）「カリキュラム・マネジメントの取組状況とさらなる充実のための今後の施策」

工藤真弘（能代市立能代第二中学校長）「カリキュラム・マネジメントの導入・推進による学校・教員・生徒の変容」

吉富芳正（明星大学教育学部教授）「推進校調査等からみるカリキュラム・マネジメントへの取組による成果と課題」

司会：唐木清志（筑波大学）、村川雅弘（甲南女子大学）

コーディネーター・記録：石田有記（文部科学省）、村川雅弘（甲南女子大学）

⑧若手育成セミナー（第3回）の開催

日時：2024年2月23日（金・祝）10:00-12:00

場所：オンライン開催（Zoom）

テーマ：「フィールドにおけるカリキュラム研究をどのように論文にするか」

話題提供者：

高橋亜希子（南山大学）「カリキュラム研究におけるフィールド研究の意義」

園部友里恵（三重大学）「フィールドにおける実践研究論文をどのように執筆したか」

木原俊行（大阪教育大学）「フィールドにおける研究論文をどのように執筆したか」

⑨第14回研究集会の開催

日時：2024年3月16日（土）13:00～16:00

場所：オンライン開催（Zoom）

テーマ：科学教育における「探究的な学習」の理論と実践

報告者：大貫守（愛知県立大学）、井村有里（大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎）

司会：上地完治（琉球大学）、田村知子（大阪教育大学）

コーディネーター：上地完治、田村知子、鶴川護（香川大学教育学部附属高松小学校）

⑩オンライン投稿の開始

2023 年度から学会運営の業務委託先をガリレオに変更するとともに、年会費支払い、理事選挙投票、大会参加（参加費支払い、発表資料のアップロード等）においてオンライン化を進めてきた。『カリキュラム研究』第 34 号からはオンライン投稿を稼働した。

⑪その他

（2）2023 年度決算報告・監査報告

【総会資料 1】

2024 年 5 月 27 日に会計監査を行なった。2023 年度も、定例理事会や各種委員会活動、秋のセミナー、若手育成セミナー、研究集会がオンラインでの開催や活動となったため、学会運営に関わる支出が減少したとの報告があった。また、2023 年度からの業務委託先変更にもなつて封筒や払込票等の印刷があったこと、監査等の業務は前委託業者が行ったことなどから外部委託費が大幅に増えたことが確認された。2023 年度予算会計の状況としては、大きな問題点や不明瞭な点はなかったが、繰越金が増加しているため、何らかの形で会員に還元する取り組みを継続する必要性が指摘された。

3. 第 35 回大会年度（2024 年度）活動方針案について

（1）一般方針

- ①年次大会（第 35 回大会）の実施：筑波大学を開催校として開催
- ②第 36 回大会（2025 年度）の準備：花園大学にて開催予定
- ③学会誌『カリキュラム研究』第 34 号発行
- ④優秀発表賞及び研究奨励賞の選考
- ⑤秋のセミナー2024 の開催
- ⑥第 15 回研究集会の開催
- ⑦会報、その他の広報活動
- ⑧会員勧誘
- ⑨その他

（2）2024 年度予算案

【総会資料 2】

総会資料 2 の通り、予算案を作成した。

4. その他

会員の皆様へのお願い:学会ホームページから会員情報の更新を随時お願いします。

学会ホームページでは、会員専用ページとして「会員名簿検索システム」を導入しています。会員相互の連絡や情報交換のためのシステムですので、所属先の情報については可能な範囲で公開していただきますようお願いいたします。

また、学生としての所属がなくなった場合は、一般会員への変更をお願いいたします。

5. 閉会の辞

【総会資料1】

日本カリキュラム学会

第34回大会年度（2023年度）決算報告書

（2023年4月1日～2024年3月31日）

収入の部

項目	予算額（円）	実績（円）
学会年会費	5,000,000	4,976,000
入会金	60,000	92,000
学会誌代・雑収入・利子等	50,000	31,534
第34回大会収入	900,000	1,089,000
寄付	0	0
前年度繰越金	12,142,694	12,142,694
合計	18,152,694	18,331,228

支出の部

項目	予算額（円）	実績（円）
第34回大会支出	2,000,000	1,859,517
第32号・第33号紀要刊行費(含む発送費)	1,400,000	754,649
学会賞費（奨励賞及び優秀発表賞）	70,000	70,000
会合費（交通費他）	1,300,000	50,781
事務局経費	150,000	158,488
事務局外部委託費	1,600,000	2,358,264
財）日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
教育関連学会連絡協議会会費	10,000	10,000
各種委員会経費		
紀要編集委員会	100,000	1,040
国際交流委員会	100,000	108,825
研究委員会	300,000	138,355
広報・若手育成委員会	300,000	27,722
学会賞委員会	100,000	22,440
（小計）	900,000	298,382
理事・代表選挙経費	410,000	460,800
学会業務の委託先変更に伴う初期経費	600,000	461,744
投稿システムの運用経費	350,000	244,750
予備費	200,000	0
次年度繰越金	9,112,694	11,553,853
合計	18,152,694	18,331,228

本簿について監査しました。

2024年 5月 27日

北田佳子 印
後利 印

【総会資料2】

第35回大会年度(2024年度)予算案(2024年4月1日～2025年3月31日)

収入の部

項目	予算額(円)	備考
学会年会費	5,000,000	過去2年分の実績にもとづく
入会金	80,000	40名見込み
学会誌代・雑収入・利子等	30,000	
第35回大会収入	1,000,000	
寄付	0	
前年度繰越金	11,553,853	
合計	17,663,853	

支出の部

項目	予算額(円)	備考
第35回大会支出	2,000,000	大会校の予算案にもとづく(大会業務委託費含む)
第33号紀要刊行費(含む発送費、J-STAGE掲載経費)	700,000	
学会賞費(研究奨励賞および優秀発表賞)	110,000	研究奨励賞2件、優秀発表賞1件
会合費(交通費他)	300,000	大会時以外2回の理事会はオンラインで行うため減額する。
事務局経費	150,000	
事務局外部委託費	2,000,000	委託先「ガリレオ」
財)日本学術協力財団賛助会費	50,000	執行済
教育関連学会連絡協議会会費	10,000	
各種委員会経費		
紀要編集委員会	100,000	
国際交流委員会	100,000	
研究委員会	300,000	
広報・若手育成委員会	300,000	
学会賞委員会	100,000	
(小計)	900,000	
学会ホームページ リニューアル	300,000	執行済
電子投稿システムの運用経費	350,000	
電子投稿システムの機能追加	300,000	
40周年記念事業準備費	500,000	
予備費	200,000	
次年度繰越金	9,793,853	
合計	17,663,853	

日本カリキュラム学会「秋のセミナー2024」（公開）のお知らせ

カリキュラム・マネジメント推進における校長のリーダーシップ

【企画趣旨】

現行学習指導要領において、カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質向上が求められてから4～5年が経過した。その間、新型コロナウイルス感染拡大や GIGA スクール構想の対応において、カリキュラム・マネジメントの考え方が有効に機能した学校は少なくない。

昨年度は、本セミナーにおいて「カリキュラム・マネジメントで学校はどう変わるか」に関して協議を行った。今回は、各校がカリキュラム・マネジメントを推進・充実させていく際の校長のリーダーシップに関して、事例報告及び協議をシンポジウム形式で行う。特に、校長職に就く前にカリキュラム・マネジメントについての理解を深めることが、学校づくりや授業づくりにいかに有効か、どんな準備を行っておくべきか、また、中堅・ベテランのみならず教職経験年数の若い教員をカリキュラム・マネジメントの推進においてどう育て生かしていくのかについて協議を行いたい。

【主催】 日本カリキュラム学会（担当：広報・若手育成委員会）

【日程】 2024 年 11 月 16 日（土）13:30～16:00（予定）

【形態】 オンライン

【登壇者】（五十音順）

太田光寛氏（山口県教育庁義務教育課 主幹 前山口県山口市立徳地中学校校長）

眺野大輔氏（静岡県ふじのくに国際高等学校校長）

八弼明美氏（愛知県知多市立新知小学校校長）

【司会】

石田有記（日本体育大学）、村川雅弘（甲南女子大学）

【コーディネーター・記録】

石田有記（日本体育大学）、唐木清志（筑波大学）、村川雅弘（甲南女子大学）

【参加費、参加資格】

無料です。公開ですので、会員以外の参加も可能です。※ただし、録画・録音は禁止とします。

【参加申し込み】

Google Form を活用し、11 月 13 日（水）までに、お申し込みください。

<https://forms.gle/SBKRD6g6ia4HMcQ47>

【参加方法】

Zoom を使用します。事前申し込みにご協力ください。申し込みを行った方には、開催日の前日となる 11 月 15 日（金）に、Zoom の URL と、発表者の配布資料を送付します。

【問い合わせ先】

日本カリキュラム学会事務局 (jscsstaff@gmail.com)

※「秋のセミナー」は、日本カリキュラム学会の社会貢献的行事として、すべての学校教育関係者及び教職を目指す大学生・大学院生、報道機関関係者、研究者等に公開しています。オンライン開催となっておりますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

事務局からのお知らせ

1. 会員現況報告（2024 年 6 月 14 日時点）

■会員総数 697 名（一般会員 612 名、学生会員 79 名、団体会員 6 名）

※連絡先不明者 5 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 27 名を含む。

（2023 年度 706 名、2022 年度：701 名、2021 年度：712 名）

※2023 年度の新規入会者数は 46 名

■会費納入率（2024 年 6 月 14 日時点）

2024 年度：完納 444 名 未納 253 名 計 697 名 63.7%（切り捨て）

※連絡先不明者 5 名、未納退会希望者・会員一時資格停止者 27 名を含む。

（2023 年度：89.0%、2022 年度：92.1%、2021 年度：96.7%）

■新規入会者（2024 年 2 月 15 日～6 月 14 日）39 名

	入会年月日	氏名	所属	会員種別	推薦者
1	2024/2/19	長浜 佐知子	所属非公開希望	正会員	赤沢 早人
2	2024/3/8	氏井 紅葉	上智大学大学院	学生会員	上野 正道
3	2024/4/1	前田 菜摘	国立法大 大分大学	正会員	事務局
4	2024/4/1	杵渕 拓樹	大阪大学	正会員	事務局
5	2024/4/1	中川 智之	川崎医療福祉大学	正会員	横松 友義
6	2024/4/4	落水 裕大	兵庫県立宝塚北高等学校	正会員	田村 知子
7	2024/4/6	堀下 健太郎	所属非公開希望	正会員	田上 哲
8	2024/4/8	江口 慎一	西尾市学校教育課	正会員	大貫 守
9	2024/4/8	吉田 純太郎	広島大学大学院	学生会員	草原 和博

10	2024/4/8	山川 葵	早稲田大学大学院	学生会員	根津 朋実
11	2024/4/10	栗林 利昭	中央大学大学院	正会員	事務局
12	2024/4/10	松崎 秀彰	筑波大学大学院	学生会員	樋口 直宏
13	2024/4/10	藤井 真吾	名古屋学院大学	正会員	樋口 直宏
14	2024/4/11	安達 心	筑波大学大学院	学生会員	樋口 直宏
15	2024/4/14	佐藤 浩輝	明野五葉学園	正会員	浅野 信彦
16	2024/4/15	諏澤 宏恵	花園大学	正会員	磯田 文雄
17	2024/4/15	佐々木 裕美子	久慈市立久喜小学校	正会員	安藤 福光
18	2024/4/15	高橋 伸明	岡山県笠岡市立笠岡小学校	正会員	佐藤 正寿
19	2024/4/16	鵜川 護	香川大学教育学部附属高松小学校	正会員	根津 朋実
20	2024/4/19	炭谷 将史	花園大学	正会員	磯田 文雄
21	2024/4/19	浅川 真知子	駒沢女子大学	正会員	富士原 紀絵
22	2024/4/19	徳富 健治	東京学芸大学附属竹早小学校	正会員	樋口 直宏
23	2024/4/20	仲地 孝子	琉球大学教職大学院	正会員	事務局
24	2024/4/22	藤 朱里	筑波大学大学院	学生会員	樋口 直宏
25	2024/4/24	山口 真希	花園大学	正会員	磯田 文雄
26	2024/4/25	熊井 将太	安田女子大学	正会員	樋口 裕介
27	2024/4/25	大城 朝周	広島大学大学院	学生会員	吉田 成章
28	2024/4/25	小西 哲也	公立大学法人下関市立大学	正会員	安藤福光
29	2024/4/26	真島 聖子	国立大学法人愛知教育大学	正会員	竹川 慎哉
30	2024/5/8	菊地 かおり	筑波大学	正会員	唐木 清志
31	2024/5/13	丸山 範高	和歌山大学	正会員	二宮衆一
32	2024/5/14	加藤 優汰	神戸大学大学院	学生会員	川地 亜弥子
33	2024/5/14	高橋 朋子	愛媛大学大学院	学生会員	兵藤清一
34	2024/5/15	須谷 弥生	大阪成蹊大学	正会員	松田 充
35	2024/5/15	石部 正則	兵庫教育大学	学生会員	安藤 福光
36	2024/5/15	田野 茜	京都大学	学生会員	肖 瑤
37	2024/5/16	増田 美奈	富山大学	正会員	北田 佳子
38	2024/6/13	細野 花莉	広島大学大学院	学生会員	南浦涼介

※入会年月日は、入会金の振り込みがあった日付になります。会員番号は入会申し込みが届いた日になります。上記の順番は会員番号順です。

■退会者(2024年2月15日～6月14日) 29名

	退会日	会員名	所属	会員種別
1	2024/3/25	北原 琢也	京都橘大学	正会員
2	2024/3/31	伊藤 圭子	広島大学大学院	正会員
3	2024/3/31	内海 隆	青森公立大学	正会員
4	2024/3/31	梅本 裕	京都橘大学	正会員
5	2024/3/31	南本 長穂	京都文教大学	正会員
6	2024/3/31	山崎 準二	学習院大学	正会員
7	2024/3/31	戸田 善治	千葉大学	正会員
8	2024/3/31	佐藤 英二	明治大学	正会員
9	2024/3/31	堀内 かおる	横浜国立大学	正会員
10	2024/3/31	日詰 裕雄	招賢塾	正会員
11	2024/3/31	阪井 恵	明星大学	正会員
12	2024/3/31	長田 尚子	立命館大学	正会員
13	2024/3/31	河村 美穂		正会員
14	2024/3/31	友野 清文	昭和女子大学	正会員
15	2024/3/31	八尾坂 修	玉川大学	正会員
16	2024/3/31	佐藤 郁子	所属非公開希望	正会員
17	2024/3/31	山田 真子	長崎大学	正会員
18	2024/3/31	萩原 真美	聖徳大学大学院	正会員
19	2024/3/31	齋藤 嘉則	所属非公開希望	正会員
20	2024/3/31	大橋 淳子	福島大学	正会員
21	2024/3/31	上田 悠紀子	所属非公開希望	正会員
22	2024/3/31	金子 あけみ	所属非公開希望	正会員
23	2024/4/4	佐藤 博志	筑波大学	正会員
24	2024/4/24	白鳥 美香	長野県屋代高等学校・附属中学校	正会員
25	2024/4/26	松井 千鶴子	上越教育大学大学院	正会員
26	2024/5/1	神代 明	所属非公開希望	正会員
27	2024/5/7	須田 昂宏	名古屋大学大学院	正会員
28	2024/5/17	時得 紀子	上越教育大学	正会員
29	2024/6/3	難波 正明		正会員

2. 寄贈図書一覧（2024年3月7日～2024年6月25日到着分）

著者名	タイトル	出版社等	発行日	受領日
笹野恵理子・学校音楽文化研究会編著	学校音楽文化論：人・モノ・制度の諸相からコンテクストを探る―	東信堂	2024/2/28	2024/3/16
東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所編	パネル調査にみる子どもの成長：学びの変化・コロナ禍の影響	勁草書房	2024/2/20	2024/3/20
Tetsuo Kuramoto	School-Based Curriculum Management: Teacher Education and Lesson Study Perspective	ふくろう出版	2024/2/20	2024/3/29
田村知子・村川雅弘・吉富芳正・西岡加名恵編著	子どもと教師のウェルビーイングを実現するカリキュラム・マネジメント	ぎょうせい	2024/4/5	2024/4/8
石井英真	教育「変革」の時代の羅針盤：「教育DX×個別最適な学び」の光と影	教育出版	2024/3/19	2424/4/2
ベス・C・ルービン著、池野範男・川口広美・福井駿監訳	メイキング・シティズン：多様性を志向した市民的学習への変革	明石書店	2024/3/31	2024/4/8
北山夕華・橋崎頼子編	多文化社会の学校と教師教育：ノルウェーと日本の国際比較研究から	大阪大学出版会	2024/3/31	2024/4/24
豊田ひさき	東井義雄 授業実践史	風媒社	2024/3/14	2024/5/9
樋口とみ子	リテラシー教育はどうあるべきか：現代アメリカにおける概念の相克から読み解く	ミネルヴァ書房	2024/8/1	2024/6/24
細尾萌子・小田初美・副島和美・倉本孝子編著	看護・助産師教育に活かすパフォーマンス評価ワークブック：導入のための初めの一歩	創元社	2024/6/10	2024/7/1

3. 会計監査について

2024年5月27日に会計監査を行なった。2023年度も、定例理事会や各種委員会活動、秋のセミナー、若手育成セミナー、研究集会がオンラインでの開催や活動となったため、学会運営に関わる支出が減少したとの報告があった。また、2023年度からの業務委託先変更にもなって封筒や払込票等の印刷があったこと、監査等の業務は前委託業者が行ったことなどから外部委託費

が大幅に増えたことが確認された。2023 年度予算会計の状況としては、大きな問題点や不明瞭な点はなかったが、繰越金が増加しているため、何らかの形で会員に還元する取り組みを継続する必要性が指摘された。

4. 令和 6 年度（2024 年度）分会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の会員の方は、納入をお願い申し上げます。2024 年 6 月 14 日時点での 2024 年度会費の納入率は 63.7%です。納入促進に、会員みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。また、前年度（2023 年度）分までの年会費が未納の会員の方におかれましては、未納分の年会費の納入もあわせてお願い申し上げます。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく（株）ガリレオ・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。

（年会費：一般 8,000 円、学生 5,000 円、団体 10,000 円）

5. 会員情報更新のお願い

学会ホームページから会員情報の更新を随時お願いします。学会ホームページでは、会員専用ページとして「会員名簿検索システム」を導入しています。会員相互の連絡や情報交換のためのシステムですので、所属先の情報については可能な範囲で公開していただきますようお願いいたします。

また、学生としての所属がなくなった場合は、一般会員への変更をお願いいたします（こちらは学会ホームページの「マイページ」の変更と併せて学会事務局までご連絡ください。

【入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先】

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2 丁目 39-2-401

（株）ガリレオ学会業務情報化センター内

TEL 03-5981-9824 FAX 03-5981-9852 ※電話受付 平日 11:00～16:00

E-mail : g050jscs-support@ml.gakkai.ne.jp

【上記以外の学会運営に関する問い合わせ先】

〒448-8542

愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 竹川慎哉気付

日本カリキュラム学会事務局

E-mail : jscsstaff@gmail.com

※ 2022 年 4 月 1 日をもちまして、学会事務局のメールアドレスを変更いたしました。

【学会ホームページ】

<https://jscs-info.jp/>

※2024 年 4 月 10 日に学会ホームページのドメイン（URL）を移転しました。